



当期業績予想の修正、 及び中期経営計画目標値の修正について

2025年11月13日

01

当期業績予想の修正について

当期業績予想の修正について

当期業績予想につきましては、E-Castを買収したことにより売上高は限定的ではありますが増加することを見込んでいます。

ただし、一過性のM & A関連費用が発生したことに加え、第3四半期以降自動車部品関連等において、当初影響が限定的であると考えていたトランプ関税の影響等が出ると予測していること、及び既存のマレーシア子会社において見込んでいた大型受注のための金型売上の発生時期が翌期以降にずれることなどから利益が下振れすると見込んでいます。

単位：百万円

	2026年3月期 当初通期予想	2026年3月期 修正通期予想	当初通期予想比	
			増減額	増減率 (%)
売上高	6,560	6,800	+240	+3.7%
営業利益	570	320	△250	△43.9%
営業利益率	8.7%	4.7%	△4.0%	—
経常利益	575	340	△235	△40.9%
経常利益率	8.8%	5.0%	△3.8%	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	423	250	△173	△40.9%
1株当たり当期純利益	205円31銭	121円34銭	△83円97銭	△40.9%

02

中期経営計画目標値の
修正について

中期経営計画目標値の修正について

9月29日に取得したE-Castの効果により、中期経営計画の目標に与える影響が大きい
ため、中期経営計画「Challenge 100」の目標数値の修正を行います。当社は、事業
成長スピードを加速させるため、今後も引き続きM & Aの実施を推進してまいります。

(単位：百万円)	2028年3月期 (当初計画)	2028年3月期 (修正計画)
連結売上高	10,000	12,000
(既存事業)	8,000	8,000
(M & A)	2,000	4,000
(E-Cast)	—	1,600
(今後のM & A実施見込)	2,000	2,400
連結営業利益	800	1,200
(既存事業)	800	800
(M & A)	—	400
(E-Cast)	—	250
(今後のM & A実施見込)	—	150

売上高目標
20億円増加
(20%UP)

最低年1件のM & A実施を
見込んでいるため目標額を
増額

営業利益目標
4億円増加
(50%UP)

連結営業利益率の目標を
8%から10%へ上方修正

※M & Aにかかる営業利益は、のれんの償却を含んでいます。

中期経営計画目標値の修正について

	2025年3月期 (実績)	2026年3月期 (修正予想)	中期経営計画期間	2028年3月期 (当初計画)	2028年3月期 (修正計画)
連結営業利益率	7.5%	4.7%		8.0%	10.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	389百万円	250百万円		590百万円	825百万円
1株当たり当期純利益	190.63円	121.34円		(※) 250円	(※) 350円

※28年3月期の1株当たり当期純利益については、発行済株式総数が235万株になると仮定して算出しております。（優先株式の転換及びストックオプションの権利行使による）

中期経営計画目標値の修正について

◆成長指標

2026年3月期（修正予想）			中期経営計画 2028年3月期（修正目標）
K P I	マグネシウム 売上高(注1)	2,750百万円	4,000百万円
	EBITDA(注2)	900百万円	1,600百万円
株主還元	配当金	20円	25円以上 配当性向10%～20%

(注1) 長期的に見てマグネシウム部品を採用する工業製品の拡大に対応していくため指標としています。2026年3月期に関しては、自動車部品関連等の減少により前回発表予想より446百万円減の2,750百万円となると見込んでいます。

(注2) 成長過程において積極的な設備投資が必要であり、これを勘案し指標としています。2026年3月期に関しては、営業利益が減少したことにより、前回発表予想より82百万円減の900百万円となる見込みです。なお、M & Aの目標値を修正したことに伴い、EBITDAの目標値を1,300百万円から1,600百万円に修正しています。

（業績目標の前提条件）

- ① 想定為替レートは、直近の相場から横這い圏で変動するものと仮定しています。
（USD：151円 HKD：19円 RMB：21円 THB：4.5円 MYR：35円）
- ② 原材料価格等も、直近の相場から横這い圏で変動するものと仮定しています。

中期経営計画目標値の修正について

新たな中期経営計画の期間中においては、将来の成長スピードを加速させるために、M & Aや設備投資に注力します。

ROIC(投下資本利益率)等、キャッシュフローに関する意識の重要性は認識していますが、この3年間はリスクテイクを優先させたいと考えております。

	2024年3月期 (実績)	2025年3月期 (実績)	中期経営計画期間	2028年3月期 (修正目標)
営業CF (A)	242百万円	542百万円		1,050百万円
投資活動CF (B)	△381百万円	△360百万円		△1,000百万円
財務活動CF	207百万円	△205百万円		200百万円
フリーキャッシュフロー (A) + (B)	△139百万円	182百万円		50百万円

中期経営計画期間中（2026年3月期・2027年3月期）については、フリーキャッシュフローがマイナスになると見込んでいます。

中期経営計画目標値の修正について

当社は、成長戦略として年間1案件以上のM&A実施を目指しております。

M&Aにより、新たな顧客・製品・技術等を獲得し、かつ生産効率の向上等を図ってまいります。

1. さらなるM & Aによる成長

シナジー効果が見込める現事業の周辺領域企業のM & Aを積極的に推し進めます。

2. 子会社化による収益拡大

PMIを着実に実施し、シナジー効果を最大化させ、収益力の拡大を図ります。

3. 既存事業における生産拡大

同業他社にはない独自の技術力をもとに成長し、事業の拡大を実現します。

連結売上高の推移



M & A 戦略について

シナジー効果が見込める現事業の周辺領域企業のM & Aを積極的に推し進め、長期目標達成への礎を築き、成長スピードを一層高めます。

ASEAN（特にマレーシア）における ダイカスト事業の拡大

ASEAN（特にマレーシア）におけるアルミダイカスト事業は、成長余地が大きいと考えており、事業継承などによる売り案件を取り込んでまいります。

国内での事業領域の拡大

国内においては、ダイカスト事業のみに限定せず、金属加工事業者としての事業領域の拡大や生産能力の拡大等を希求し、新たな買収先を選定してまいります。

日本・海外の両面で選定してまいります



03

Appendix

会社概要

会社概要

商号 株式会社STG

銘柄コード 5858（東京証券取引所）

創業年月 1975年11月

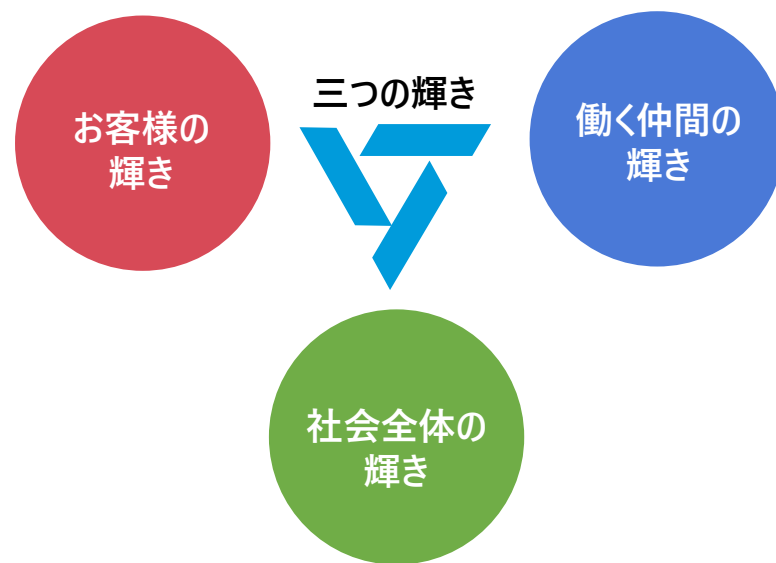
代表者 代表取締役社長 佐藤輝明

本社所在地 大阪府八尾市山賀町六丁目82番地2

事業内容 金属部品鋳造及び加工事業

資本金 3億7,446万円（2025年9月末時点）

従業員数 連結 829名
単体 56名（2025年9月末時点）



経営戦略

マグネシウム合金部品を中心とした電動車・自動運転関連軽量化ソリューションを戦略ドメインと定め、電動車等の普及に伴う市場拡大による成長機会を捉えます。2025年度から始まる3年間の中期経営計画では、特に、技術・品質の向上と生産能力拡大を図るため、設備投資やM & A等を積極的に行っていく方針です。

会社概要 - 沿革



株式会社TOSEI

● 1985年

日本初のマグネシウム専門メーカーとして 株式会社東静工業（後の、株式会社 TOSEI）が創業（現 静岡工場）

● 1995年

Panasonic向けP C (レッツノート・タフブック) 筐体生産開始 (TOSEIと取引開始)

受賞歴 award history

● 2015年

経済産業省ダイバーシティ経営企業100選に選ばれる

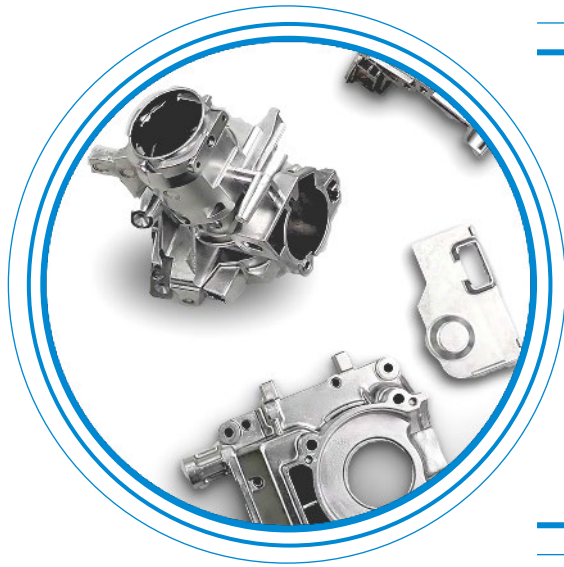
● 2017年

ジャパンベンチャーアワード（JVA）2017中小機構理事長賞 受賞

（注）ブラスト加工とは粒状の研磨材を投射、衝突させることで物理的に加工を行う工法。

会社概要 - 事業内容

未来の社会に貢献する、軽量化ソリューションを創造しています。



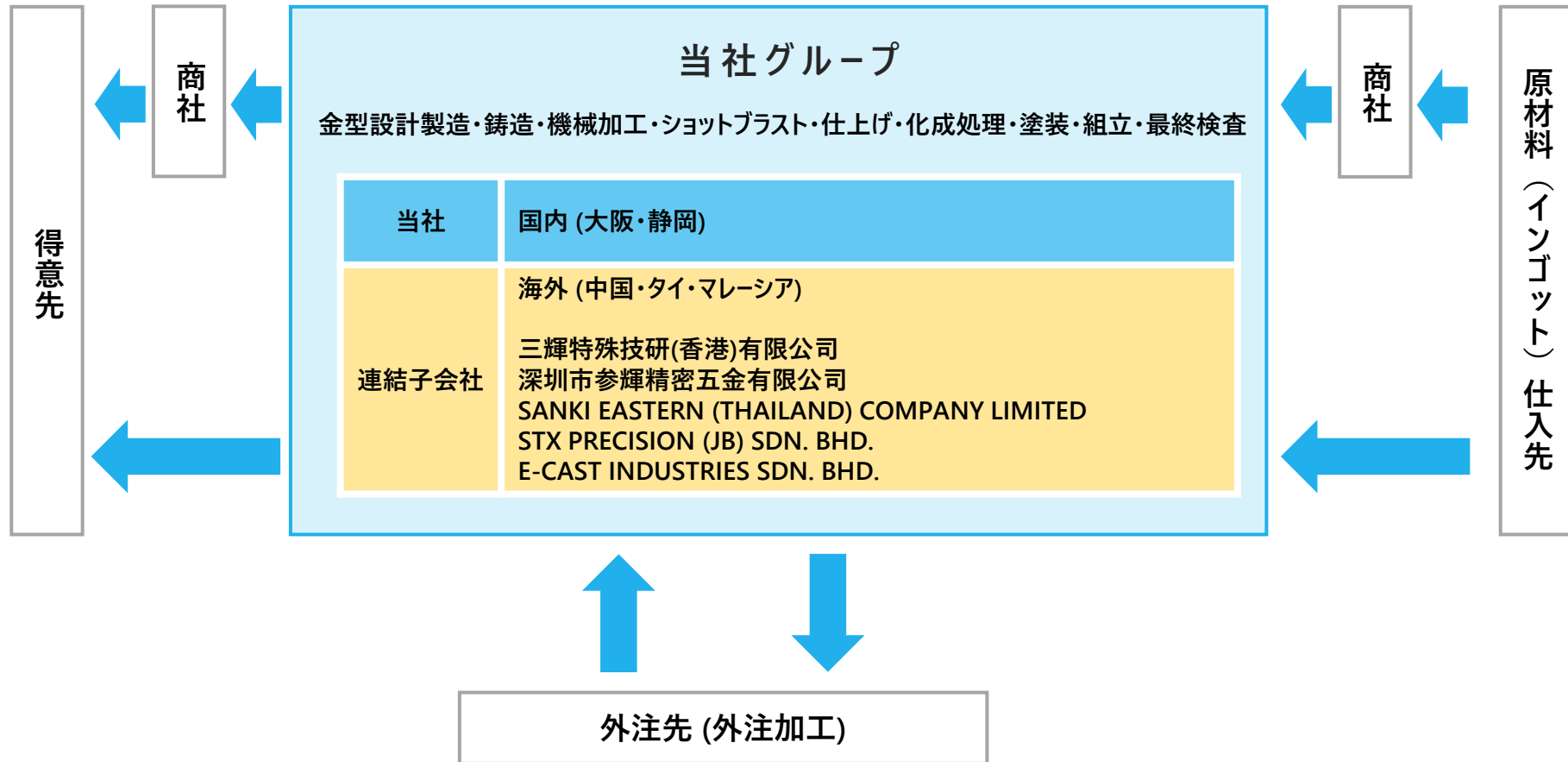
実用金属で最も軽いマグネシウムを中心とした

様々な工業製品の部品を製造加工することを得意としている会社であり

金型の設計・製造、金属部品の鋳造、機械加工、ショットブラスト、仕上げ、
化成処理、塗装、組立までを行う事業を展開しております。

アルミニウムダイカストについては、マレーシア事業を中心に、品質を維持しつつ、
軽量化とコストダウンをはかることを目的としたグローバル企業に製品を供給しています。

会社概要 - 事業系統図



(注) 各工場の工程については次ページをご覧ください。

会社概要 - 事業内容(生産工程)

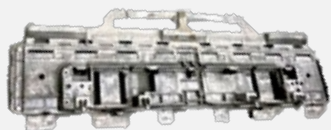
※2025年9月期時点

工程	作業内容	大阪工場	静岡工場	中国工場	タイ工場	マレーシア工場Ⅰ (注2)	マレーシア工場Ⅱ (注3)
①	金型設計・製造 2D・3D CADを用いて鋳造の基となる金型の設計を行います。	×	△ 設計のみ	△ 設計のみ	△ 設計のみ	○	△ 設計のみ
②	鋳造 ダイカスト法という成型法を用いて、金型に溶かした金属を射出して製造品を製造します。	×	○	×	○	○	○
③	機械加工 マシニングセンタを使用した高精度の切削加工を行います。	○	○	○	○	○	○
④	ショットブラスト ショットブラスト機を使用して成型品のバリを落とします。	○	○	○	○	○	○
⑤	仕上 ヤスリやエアーツールを使用して手作業で表面仕上げを行います。	○	○	○	○	○	○
⑥	化成処理 金属の腐食を防ぐ防食や塗装の下地加工を行います。	×	×	×	○	×	×
⑦	塗装・組立 製品の塗装組み立てを行います。	×	×	△ 組立のみ	×	○	○
⑧	最終検査 各工程間でも検査を行います、 三次元測定機を用いた精密な検査など 完成品として入庫前に最終検査を行います。	○	○	○	○	○	○

- (注) 1. ○△は自社で取り扱っている工程です。その他は外注しております。
 2. マレーシア工場Ⅰは、STX PRECISION (JB) SDN. BHD.です。
 3. マレーシア工場Ⅱは、E-CAST INDUSTRIES SDN. BHD.です。

会社概要 - 事業内容(主な取扱製品)

自動車メーターパネル



業界 自動車メーカー
材質 マグネシウム合金

光学機器フルサイズ ミラーレスの外装シャーシ



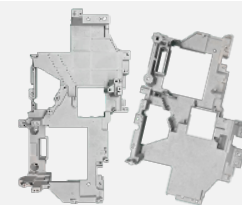
業界 映像機器メーカー
材質 マグネシウム合金

監視カメラ



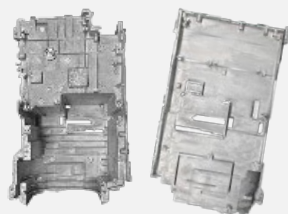
業界 映像機器メーカー
材質 アルミニウム合金

エンジンベース



業界 映像機器メーカー
材質 マグネシウム合金

ムービーカメラのハウジング



業界 映像機器メーカー
材質 マグネシウム合金

LEDヒートシンク



業界 照明機器メーカー
材質 マグネシウム合金

※ 画像はイメージ画です

会社概要 - 事業内容(拠点別)

	 主な 製造部品	 取り扱い 素材	 主要 取引先
日本 大阪・静岡	高付加価値カメラ製品 電動自動車部品 自動車部品等の二次加工	マグネシウム合金 アルミニウム合金	精密機器メーカー 電機メーカー 自動車部品メーカー
中国 (注1)	プロジェクター部品 プリンター部品 ドローン部品	マグネシウム合金 アルミニウム合金 亜鉛合金	精密機器メーカー 電機メーカー
タイ	高付加価値カメラ製品 電動自動車部品	マグネシウム合金	精密機器メーカー 電機メーカー 自動車部品メーカー
マレーシア(注2)	産業用精密機器部品 電動車部品 医療機器部品	アルミニウム合金 亜鉛合金	産業用精密機器メーカー 自動車部品メーカー 医療機器メーカー

(注1) 中国には、香港を含んでおります。これは、香港法人が中国法人の商社機能を担っているからです。

(注2) マレーシアには、STX PRECISION (JB) SDN. BHD.及びE-CAST INDUSTRIES SDN. BHD.を含んでおります。

本資料の取扱いについて

本資料は、情報提供を目的として当社が作成したものです。

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれおり、これらの将来の見通しに関する記述は、本資料の日付時点において当社が利用可能な情報に基づいて作成されています。これらの記述は、将来の結果や業績を保証するものではありません。このような将来予想に関する記述には、既知及び未知のリスクや不確実性が含まれており、その結果、将来の実際の結果や業績は、将来予想に関する記述によって明示的又は黙示的に示された将来の結果や業績の予測とは大きく異なる可能性があります。

これらリスクや不確実性には、国内および国際的な経済状況の変化や、当社が事業を展開する業界の動向などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。

なお、以下の項目については、2025年6月30日に公表いたしました「事業計画及び成長可能性資料をご参照ください。

・市場環境 ・特徴と強み ・当社グループの技術力 ・リスク情報